

# 令和4年9月議会

## 北九州市立中学校の部活動について

① 今年度スタートした「連携部活動」について、これまでの成果や課題を伺います。

② 部活動の「地域移行」におけるメリット、デメリットについて、教育委員会の見解を伺います。

③ 部活動については、顧問教員や生徒が様々な思いを持って取り組んでいるかと思いますが、教育委員会は「地域移行」をどのように進めていくのか、また、顧問教員の今後について、併せて伺います。

### 教育長答弁

全国的な中学校部活動の現状ですが近年、深刻な少子化の進行によって中学校の生徒数の減少が加速する中で部活動を維持する事が厳しくなってきました。



これまで部活動に関するこれらの課題に対応するために本市では、部活動外部講師や部活動指導員の採用、また部活動指導のNPO委託といったものに加えまして単独ではチームが編成できない学校が協力して活動を行う合同部活動というものを実施して少子化による部員数の減少に対応しています。

## 洋上風力発電と地域の活性化について

令和4年5月10日、資源エネルギー庁は「洋上風力発電による地域・漁業振興策事例集」を公表しましたが、例えば、漁業振興策の事例による想定される効果として、「漁業関係者が関連事業に携わることで地域に根付いた事業が定着」「リアルタイムデータの活用による漁業の効率化」「市場活動販促促進の実施により、対象海域の水産物の需要及び販路の拡大」「洋上ウインドファームによる新たな漁場創出」、また、地域振興策の事例として、「新たな観光産業の導入による雇用創出と収益増加」「風力発電に係る学習の場の提供による人材育成」「洋上風力発電施設の建設等で地元企業や漁業関係者および漁船の活用による新たな雇用創出」などを挙げています。

洋上風力発電による経済波及効果、観光における地域振興、連携について、見解を伺います。

### 市長答弁

現在、ウインドファームの構造、施工、維持管理に係る認証手続など、今年度中の着工に向けた最終の準備を進めており、当初の計画どおり、令和7年度には運転が開始される予定であります。

洋上風車を活用した観光振興の取組であります。まずは、市内宿泊事業者、観光事業者への経済効果が見込まれる修学旅行の誘致につなげます。

また、ひびきウインドエナジー社も地域

## 若松高校の生徒と意見交換会

学校と地域が共同し、地域課題の解決や若松高校における教育の質の向上を目的とした「若松学」で若松区の様々な分野を研究・調査し、地方創生に主する高等学校改革の活動により教育実践部門 地域創生型学習で最優秀賞を受賞した若松高校の生徒と意見交換を行いました。その中で2点要望を受けました。

① 観光に関して取り上げたいものとして自転車やバイクなどの二輪の利用促進。南海岸をスタートしコスモス街道、495号線を通り海沿いや起伏のある山々を越え、芦屋に抜けるルートを提案します。このルートは、見る所、走る所としても大変魅力的であり、自転車専用道路の整備や駐輪場の必要性を感じています。宗像方面の道は、宗像にあるサイクリングロードの接続を想定しています。また、自転車の大会などを主催しても面白いのではないかと思います。

② 「若松学」の授業の中で歴史的な観光地と観光スポットの繋がり、回遊性について研究しました。花房小学校付近にある那馬台国と関連がある史跡と北海岸との繋がり回遊性などが挙げられます。

若松の将来を担う子供たちに期待します!!

連携部活動の現在の状況ですが今年度は35校104の部活動が他校からの生徒受け入れ可能というふうにしてまいりまして実際には、17校22名の生徒が近隣の学校の部活動に参加している。又、生徒に行ったアンケートによりますと「やりたくても諦めていた」「部活の練習ができるようになった」「もっと教えてくれる先生がいる」など肯定的な意見が多くを占めています。生徒の活動機会の確保という面で一定の成果をあげていると考えています。

令和3年2月の文部科学省からの通知が示されたことから部活動が地域移行した後も指導を希望する教員が地域のスポーツ活動や文化活動に従事できるように兼職・兼業の制度設計を検討している。

## 道路等の除草について

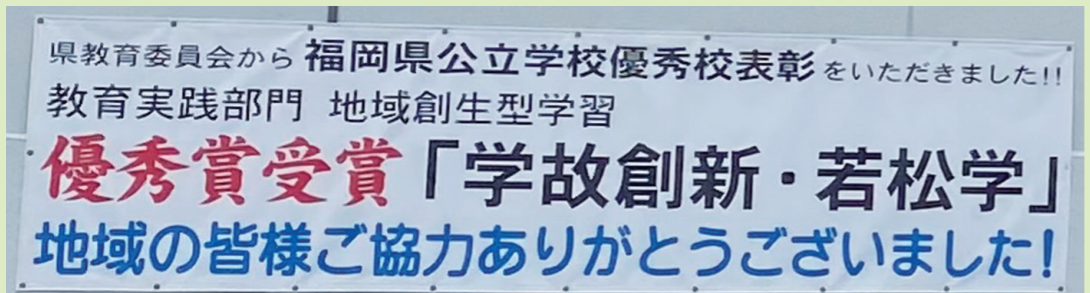
本市は、道路の中央分離帯や歩道の植樹帯について、樹木の剪定は計画的に実施し、また、除草は年2回を基本として行い、道路利用者へ安全な通行環境を提供しているところです。

この2点、お尋ねします。

① 平成30年頃から環境等への配慮から除草剤の使用をやめているとのことですが、除草作業に与えた影響について、伺います。

② 安全で安心して通行できる道路環境の維持に向けた定期除草、臨時的に行う除草の考え方を伺い、伺います。

委員御指摘の資源エネルギー庁が公表しております洋上風力発電による地域・漁業振興策事例集には、地域との連携として、展望台やフォトスポットの開設、観光ツアーなどを通じた観光産業の導入による雇用創出と収益の増加、洋上風力発電施設の



### 市長答弁

現在、定期的な除草については限られた予算の中で効率的に行うため、雑草の成長が落ち着く

梅雨明け頃と雑草の種子が結実、落下する前の秋ごろの年2回を基本として機械による草刈りを実施しています。この他、雑草が成長して通行を阻害している車道や歩道、見通しが悪くなった交差点など、交通安全上、支障が生じた箇所については、臨時的・局所的な草刈りを行っています。

本市では平成30年度から除草剤の使用を取りやめました。これにより、年間を通じた除草効果が損なわれ雑草が伸びた状態が長く続き市民からの要望による臨時的な除草作業は増加傾向にあります。

一方で通行時の安全確保や除草作業の目的に中央分離帯をコンクリート化する工夫も行っています。その中で議員ご指摘の通り、コンクリート目地部分から雑草が生える事例が見られたため令和2年度からの雑草の抑制効果が高い施工方法を導入し目地部分の対策にも取り組んでいます。いずれにしても安全で快適な道路環境維持するためには道路の助成は重要です。今後も引き続き定期的な除草に加え、臨時的・局所的に除草を行い道路の維持管理を行ってまいります。

魚礁効果による新たな漁場の創出など、観光や漁業振興に係る取組や効果が掲載されており、地域とも連携をして、具体的に効果的な事業や政策を進めてまいります。以上です。

## 市民の方からの要望

年末に「竹並の交差点付近のガードレールが壊れているので修理して欲しい。」と要望を受けました。調査した結果、交通事故の当事者の保険により対応するとの報告を受け、現在は改修されています。

